

令和5年度 立川市立西砂小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	○思いやりのある子ども	○自分の考えをもつ子ども	○健康で明るい子ども
児童に育成を目指す資質・能力		複数の教科や学校全体に共通する取組	
○身に付けた知識・技能を活用して課題を解決する力 ○自分の考えをもち、発信する力 ○自ら問いをもち、主体的に問題を解決しようとする力		・既習事項を意識しながら、授業を展開する。(学びのつながり・深まり) ・「学びのしかけ」を充実させる。 ・体験活動を取り入れ、ICT 機器を有効に活用する。	

西砂小が目指す学校像

「授業がおもしろく 充実感を得られる学校」

校内研究 研究主題

「楽しく学び つなげて深める授業づくり」

～しかけのある授業、やっぱり授業はおもしろい～

科教	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)	低学年	中学年	高学年
国語	○言葉の意味を理解して正しく使ったり、既習漢字を正しく活用したりする力 ○文章を正しく読み取る力 ○目的や意図に応じて自分の考えを話したり、文章にまとめたりする力	・辞書やタブレットPC を使って、正しい意味や漢字を確かめさせ、書いた文章を友達と読み合いながら推敲するなどして定着を図る。 ・朝読書等、読書の機会を意識的にとるようにし、語彙を増やせるように様々な言葉に触れる環境を作る。 ・文章の主語・述語に注目し、内容を簡潔にまとめられるようにする。 説明文の構成やキーワード、物語文の会話文や心情を表す語に着目させ、正しく読み取れるようにする。 ・話型を提示したり、少人数で伝えることから始めたりするほか、振り返りの時間を設けて考えを書く活動を取り入れる。 ・言葉を動作化したり、写真や実物を提示したりすることで、言葉の意味を理解できるようにする。 ・定期的に漢字の小テストを行い、定着を図る。	・辞書やタブレットPC を使って、正しい意味や漢字を確かめさせ、書いた文章を友達と読み合いながら推敲させるなどして定着を図る。 ・朝読書等、読書の機会を意識的にとるようにし、語彙を増やせるように様々な言葉に触れる環境を作る。 ・文章の主語・述語に注目し、内容を簡潔にまとめられるようにする。 ・説明文の構成やキーワード、物語文の会話文や心情を表す語に着目させ、正しく読み取れるようにする。 ・話型を提示したり、少人数で伝えることから始めたりするほか、単元や授業を振り返り活動をとることにより、視点に沿って自分の取り組みを客観的に書く力をつけていく。 ・要約や要旨をまとめる活動に取り組む。また、その際、お互いの文章を交流する時間をとり、よりよいまとめ方を考えるように促す ・単元の導入での資料提示を工夫する (ICT・実物) ことにより、子供たちの学習への意欲を高める。	・辞書やタブレットPC を使って、正しい意味や漢字を確かめさせ、書いた文章を友達と読み合いながら推敲するなどして定着を図る。 ・朝読書等、読書の機会を意識的にとるようにし、語彙を増やせるように様々な言葉に触れる環境を作る。 ・文章の主語・述語に注目し、内容を簡潔にまとめられるようにする。 説明文の構成やキーワード、物語文の会話文や心情を表す語に着目させ、正しく読み取れるようにする。 ・話型を提示したり、少人数で伝えることから始めたりするほか、振り返りの時間を設けて考えを書く活動を取り入れる。 ・自分の考えをもち、友達の考えをしっかりと聴き、比較検討しながら友達と交流し考えを伝える時間を確保する。 ・言葉に着目しこだわるような授業を取り入れる。 ・ワークシートやタブレット PC を活用して、「考えと理由や事例」などのつながりや配列を意識した文章を書かせる。 ・視写を通して、文章の書き方の基本を身に付けさせる。 ・ミニ作文に取り組ませる。
社会	○地理的、歴史的な事柄など、基礎的な知識の定着 ○資料と資料を関連付けて考える力		・授業の始めに地図帳を見たり、タブレット PC を活用したりしながら、簡単な問題に取り組ませる。 ・複数の資料から読み取った事柄の相違点や共通点に目を向けさせ、提示された課題について考えを書かせる。 ・単元の導入場面での資料提示で、ICT を活用する。また、他教科や実生活とのつながりを意識し、関連付けた授業にする。グラフの変化に着目させ、理由を考えさせる。	・単元の導入場面での資料提示で、ICT を活用する。また既習事項を導入に取り入れる。 ・学習課題に対する自分の考えをまとめとして自分の言葉で書く活動を取り入れる。 ・復習として、前時の学習内容をクイズ等にして振り返り、定着を図る。 ・課題に対して予想を立てて、自分の考えをもたせる。自分の考えの変容が分かるように振り返りを書かせる。
算数	○前学年までの学習内容の定着 (立式、演算決定、単位、時間と時刻、作表、作図) ○問題場면을正しく把握し、立式する力	・東京ベーシック・ドリル等を活用して、課題のある領域を中心に意図的に復習する時間を設定する。毎週1回の朝学習の時間に、系統的に取り組ませる。 ・低学年では、日常的に時計を読んだり時間を測ったりする機会を設ける。 ・問題場면을図表に整理する機会を多くもち、数直線や、表、式を活用して少人数で伝え合う活動を通して、意味理解を深める。 ・既習事項をもとにした見通しを全体で共有し、根拠をもって演算決定する力を身に付けさせる。 ・「あわせて」「ちがいは」などのキーワードを確認する。 ・「分かっていること」と「求めること」を丁寧に確認する。	・東京ベーシック・ドリル等を活用して、課題のある領域を中心に意図的に復習する時間を設定する。毎週1回の朝学習の時間に、系統的に取り組ませる。 ・問題場면을図表に整理する機会を多くもち、数直線や、表、式を活用して少人数で伝え合う活動を通して、意味理解を深める。 ・既習事項をもとにした見通しを全体で共有し、根拠をもって演算決定する力を身に付けさせる。 ・条件不足の問題提示により、児童が問題場面に働きかけていくようにする。	・東京ベーシック・ドリル等を活用して、課題のある領域を中心に意図的に復習する時間を設定する。毎週1回の朝学習の時間に、系統的に取り組ませる。 ・問題場면을図表に整理する機会を多くもち、数直線や、表、式を活用して少人数で伝え合う活動を通して、意味理解を深める。 ・既習事項をもとにした見通しを全体で共有し、根拠をもって演算決定する力を身に付けさせる。 ・児童がどうやってできるかなど考えたいような問題の提示を取り入れる。 ・様々な表現方法について、有用性、簡潔性、一般性など、観点を決めた上で話し合わせる。 ・前時のふりかえりや授業のまとめの時間に統合的・発展的に考察する活動を取り入れる。
理科	○科学的根拠を基に実験の結果を予想する力や条件制御を意識して実験を計画する力 ○学んだことを生活に生かしたり、結び付けたりする力		・予想を立てるときの根拠を明らかにさせ、どの条件を比較するとよいかを論理的に考えさせる。 ・下位層の児童には、既習内容を確認させるとともに、生活経験を想起させて、日常生活とのつながりを意識させて意欲を高める。 ・理科で学んだことを日常生活や他教科で生かせるように意図的に声掛けをする。 ・理科で学んだことを日常生活や他教科で生かせるように意図的に声掛けをする。	・予想を立てるときの根拠を明らかにさせ、どの条件を比較するとよいかを論理的に考えさせる。 ・下位層の児童には、既習内容を確認させるとともに、生活経験を想起させた、日常生活とのつながりを意識させて意欲を高める。 ・理科で学んだことを日常生活や他教科で生かせるように意図的に声掛けをする。 ・実験の結果をまとめる際に自分の立てた予想を振り返りながらまとめることができるよう声掛けする。 ・予想を立てるときの根拠を明らかにさせ、考えさせる。 ・既習内容を確認させるとともに、生活経験を想起させた日常生活とのつながりを意識させて、意欲を高める。
生活	○観察や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付く力	・気付いたことを全体で交流する際に、発言を価値付け、よさを認め合う活動を繰り返していく。 ・自分事として捉えられるように、具体的な活動や体験を多く行う。 ・カードに書いたり、発表したりする場を多く設定し、気付いたことを表現する経験を積ませる。 ・ICT 機器等を活用して、丁寧に観察を行ったり、気付きを共有したりする。		
音楽	○表したい音楽表現をするための基礎的な技能の定着 ○表現に対する思いや意図をもち、それを言葉で伝える力	・ICT 機器を活用し、児童が必要なタイミングで動画資料や音源を視聴できるようにする。 ・思いや意図を表現する言葉を共有する時間をつくり、新しく知った言葉を活用する場面を設定する。	・ICT 機器を活用し、児童が必要なタイミングで動画資料や音源を視聴できるようにする。 ・思いや意図を表現する言葉を共有する時間をつくり、新しく知った言葉を活用する場面を設定する。	・ICT 機器を活用し、児童が必要なタイミングで動画資料や音源を視聴できるようにする。 ・思いや意図を表現する言葉を共有する時間をつくり、新しく知った言葉を活用する場面を設定する。
図画工作	○発想や構想を作品や活動を通して表現する力 ○他者の作品や表現活動から、よさや美しさを感じ取る力	・具体的な作例を多く提示することで、自らの表現活動に生かせるようにする。 ・多様な表現活動に接する機会を増やし、良さや美しさを感じ取る活動を多く設定する。	・具体的な作例を多く提示することで、自らの表現活動に生かせるようにする。 ・多様な表現活動に接する機会を増やし、良さや美しさを感じ取る活動を多く設定する。	・具体的な作例を多く提示することで、自らの表現活動に生かせるようにする。 ・多様な表現活動に接する機会を増やし、良さや美しさを感じ取る活動を多く設定する。
家庭	○学習内容を日常生活と結び付けて考える力		・実生活を想起しやすい教具や教材を使い、学んだことを生活に結び付けやすくしていく ・考えや意見を交流する場面を多く設定し、互いに学びを深められるようにする。	・実生活を想起しやすい教具や教材を使い、学んだことを生活に結び付けやすくしていく ・考えや意見を交流する場面を多く設定し、互いに学びを深められるようにする。
体育	○いろいろな種類の運動にすすんで取り組もうとする力 ○運動の仕方の工夫を考え、表現する力	・ICT 機器等を活用して技のポイントを示したり、段階的に練習する場を工夫したりして、安心して活動できる環境を用意する。 ・各自の体力に合わせたためあてをもたせたり、教師や友達と対話的に学習を振り返らせたりする。 ・様々な場を設定し、自分の課題にあった選択ができるようにする。 ・グループ活動を取り入れ、友達と一緒に運動する楽しさを味わえるようにする。 ・学習カードを活用し、自分の課題を明確にしたり、学習を振り返ったりできるようにする。	・ICT 機器等を活用して技のポイントを示したり、段階的に練習する場を工夫したりして、安心して活動できる環境を用意する。 ・各自の課題に合わせたためあてをもたせたり、教師や友達と対話的に学習を振り返らせたりする。 ・ゲーム領域では、自分でルールや作戦を考える場を設定する。 ・各自の課題に合わせたためあてをもたせたり、教師や友達と対話的に学習を振り返らせたりする。	・ICT 機器等を活用して技のポイントを示したり、段階的に練習する場を工夫したりして、安心して活動できる環境を用意する。 ・各自の体力に合わせたためあてをもたせたり、教師や友達と対話的に学習を振り返らせたりする。 ・振り返りをもとに各自で課題を設定する。設定した課題を解決することができるよう、運動の仕方を工夫したり、友達と対話的に学習をすすめたりする。
外国語活動	○必然性のある状況設定で、思考を働かせながら相手に自分の思いや考えを伝えたり、相手とコミュニケーションをとったりする力 ○既習表現を使いながらやり取りを続ける力。		・既習表現を繰り返し使用できるものになるように計画的に、SmallTalk やアクティビティを行う。 ・単元のゴールや毎時間の言語活動では、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う際に目的や場面、状況などを明確に設定する。 ・言語活動を児童が興味・関心をもち、友達と関わり合うことができる題材に設定する。	・既習表現を繰り返し使用できるものになるように計画的に、SmallTalk やアクティビティを行う。 ・単元のゴールや毎時間の言語活動では、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う際に目的や場面、状況などを明確に設定する。 ・言語活動を児童が興味・関心をもち、友達と関わり合うことができる題材に設定する。